

**翻訳ソリューションサービスの高電社、携帯電話向けウェブサイト用の
ホームページ自動翻訳サービスを開始
ケータイ版ホームページがボタンひとつで英語・中国語に自動翻訳**

株式会社高電社は、携帯電話向けウェブサイトを実自動翻訳するASPサービス「My(マイ)サイト翻訳モバイル」の提供を開始します。



2006年11月、国内で初めて地方自治体(岡山県倉敷市)にホームページ自動翻訳サービスの提供を開始した株式会社 高電社(大阪市阿倍野区、代表取締役社長 岩城陽子、06-6628-8880)は、2010年4月より携帯電話向けウェブサイトを実英語や中国語に自動翻訳する「Myサイト翻訳モバイル」のサービス提供を開始します。

本サービスは、携帯電話向けウェブサイト上に専用のリンクタグを貼付するだけで、携帯電話からアクセスした訪問者が当リンクボタンを選択すると英語や中国語に自動翻訳される携帯電話市場、初のサービスとなります。

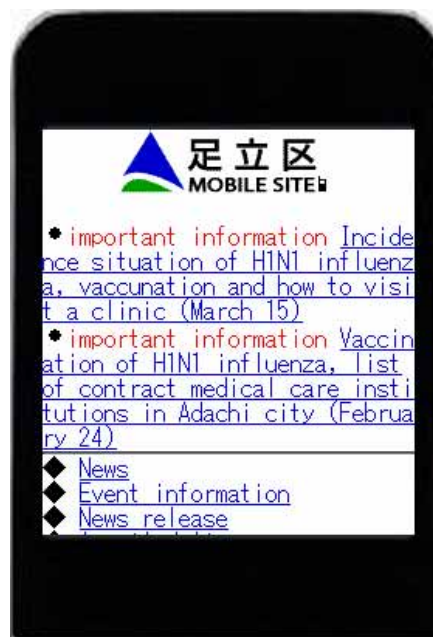
高電社は、PC用ウェブサイト向けにホームページ自動翻訳サービス「Myサイト翻訳」を提供、全国30ヶ所以上の自治体で導入され、各地で年々増加する外国人の旅行者や居住者に対する情報提供に役立っているという評価を得ております。

各地の自治体では、昨年、世界的に流行した新型インフルエンザの影響で即時性、有用性から携帯電話向けウェブサイト注力しており、東京都内では、ほぼ全ての自治体が携帯電話向けウェブサイトを実公開しています。高電社は、本サービスを実導入することにより国内の外国人居住者に対してリアルタイムに情報提供ができるものと期待しています。

本サービスで翻訳されたページを閲覧できる携帯電話の対応機種は、NTTドコモ、ソフトバンクモバイル、KDDIから発売のホームページが閲覧できる端末であれば、PCブラウザを使用することなくスムーズに表示されます。また本サービスにはPC向けウェブサイト用翻訳サービスと同様に、随時オンラインで辞書登録ができる利用者専用サイトを用意しており、利用者と高電社の双方が同時に登録作業を行いながら訳質を向上させることが可能です。

提供価格は、初期費用を除き月額1万円から。また本サービスでは、利用者の方がパソコンで外国語のメール等を受け取った際にワンクリックで日本語に翻訳するオフィス翻訳サービスを無料で提供しています。

現在、国内の自治体、観光施設、宿泊施設へ導入を働きかけており、現在、東京都足立区に導入を検討いただいております。



上記画像は、東京都足立区が導入した場合のイメージ画像です。

Press Release

<体験版 URL>

携帯電話で下記サイトにアクセスして、携帯電話用ホームページの自動翻訳が体験できます。
携帯電話から下記 URL にアクセス

<http://www15.j-server.com/trial-mysite/keitai.cgi>

または下記 URL にパソコンでアクセスして表示される QR コードを使って携帯電話でアクセス

<http://www10.j-server.com/pro/service/index2.html>

<お問合せ先>

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

株式会社高電社 IT事業部 J - SERVER事務局

電話:06-6628-7730 FAX:06-6628-2351

メール:j-server@kodensha.jp

所在地:大阪府大阪市阿倍野区昭和町 3-7-1

株式会社高電社について

本社を大阪におく、1979年創業、翻訳ソフトウェアのパイオニア企業。最新技術を搭載した翻訳ソフト『j・北京』『j・Seoul』『翻訳J・E・T』は数多くの企業・官公庁様に導入され、その高度な技術や翻訳精度は高い評価を受けています。『J - SERVER』はこれら翻訳ソフトのエンジンを基に開発されたサービスの総称です。ホームページの翻訳システムへの組み込みをはじめ、携帯電話向けでもNTTドコモ、KDDI、SoftBank、WILLCOM の公式コンテンツに採用されるなど、数多くの企業様に提供、高い評価を受けています。

(<http://www.kodensha.jp/>)

東京都足立区について:

東京都足立区 区民部区民課 多文化共生係

電話:03-3880-5177 FAX:03-3880-5603

E-mail: tabunka@city.adachi.tokyo.jp

所在地:東京都足立区中央本町 1-17-1

東京都足立区は2010年1月1日現在、区内在住の外国籍の方は23,291人にのぼり、新宿・江戸川に次いで23区で3番目に多くなっている。また、その国籍も101カ国と多岐にわたり、1995年から2010年の15年間に約1.5倍とその数は増加傾向にある。

2006年に「足立区多文化共生推進計画」を策定し、国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的な違いを認め合いながら、共に生きる地域づくりを進めている。今後も、在住外国人向けの情報提供の多言語化など、コミュニケーション支援に一層力を入れていくつもりである。

足立区はコミュニケーション支援として、英語、中国語、ハングルによる区のホームページの自動翻訳サービスを2009年7月から開始している。

(<http://www.city.adachi.tokyo.jp/>)